

## 高梁川でつながる 森・里・川・海のカ2024 実施報告

開催日時：令和6年10月5日（土） 10:00～17:00

開催場所：新見市役所 南庁舎3階大会議室 他

参加者数：午前の部47名

午後の部29名（Aコース14名、Bコース8名、Cコース7名）

全体ふりかえり16名

実施内容：

### 1 セミナー（新見市役所 南庁舎3階大会議室）

（1）新見の宝・「石灰」の絵本作成について

講師：新見市立野馳小学校 6年生の皆さん

活動フィールド：新見市



（2）ふるさと再発見、倉敷美観地区でのフィールドワークについて

講師：就実大学 経営学部 中尾 麻里江さん

活動フィールド：倉敷市美観地区



(3)「楽しそう♪」と飛び込んだ、六島でのフィールドワークについて

講師：岡山学院大学 平野研究室 チーム4年生の皆さん

活動フィールド：笠岡市六島



## 2 エコツアー

(1)Aコース：「羅生門」探求ガイドツアーコース

案内人：「羅生門をまもる会」の皆さん



国指定天然記念物羅生門を「羅生門をまもる会」の皆さんに案内していただきました。大人チームと子どもチームの2班に分かれ、普段は非公開のエリアまで入りました。羅生門は古い鍾乳洞が崩れてできた最後の姿。井倉洞<満奇洞<羅生門の順に古くなっていきます。

巨大なアーチ「門」を次々くぐって第4門まで行くとひんやりとした空気がただよっています。

周囲には、低温多湿な環境に育つコケや植物が育ち、石灰岩の岩肌とあいまって神秘的な雰囲気でした。

## (2) Bコース：新見御殿町まち歩きツアーコース

案内人：大西 映子 氏（新見御殿町まち歩きガイドの会 副代表）とガイドの皆さん



地元ガイドの皆さんの案内で、新見御殿町をめぐりました。

まず高瀬舟発着場跡で解説を聞いたあと、江戸時代の鉄問屋「津国屋」の内蔵を訪ねて歴代の当主が大切に保管してきた華麗な調度類を見学しました。その後、元料亭、元仕出し屋、元旅館と、続けて見学。粋な遊び心を凝らした器類の数々に感激。最後に、高梁川の水中を撮影した映像を「大池邸」で鑑賞。多様な淡水魚が群れ泳ぐ様子に、新見の川の豊かさを実感しました。

## (3) Cコース：神代和紙の復活ストーリーと紙漉き体験コース

案内人：土屋 俊介 氏（神代和紙保存会、こうじろ和紙屋店主）と保存会の皆さん



夢すき公園「紙の館」で、神代和紙保存会の皆さんから神代和紙について教わり、実際に紙漉きを体験しました。

神代和紙の歴史について、途絶えかけていた技術の復活ストーリーや神代和紙と千屋牛の関係など、とても興味深いお話を聞くことができました。

また、紙漉き体験では、オリジナルのうちわとしおりを作成しました。土家さんのお手本では簡単そうにされている作業も、実際にやってみると大変難しく、土屋さんの技

術の高さを実感しました。

そして、全体をとおして保存会の皆さんの神代和紙に対する熱意を肌で感じることができました。

### 3 全体ふりかえり（新見市役所 南庁舎3階大会議室）



このツアーをとおして感じたことや、これからの目標について、参加者同士で共有した。